



# 文武両輪

～勉強も行事も部活動も～

令和6年3月9日

【文書】校長 蔦川 誠

## 御卒業 おめでとうございます

本日、本校第62回卒業証書授与式が挙行されました。今年も無事に103名の卒業生を送り出すことができ、うれしく思っています。卒業生の皆さん、卒業おめでとう。そして、ありがとう。中学三年間の日々、そして今日のことを生涯忘れず、笑顔で胸を張ってこれからの人生を歩んでください。以下に式辞（一部省略）を掲載します。

### ～ 第62回 八戸市立長者中学校 卒業証書授与式 式辞 ～

(前略)

それでは、特に思い出深い、今年度の主な行事を振り返ってみます。

五月の修学旅行。「見聞を広め、安全に過ごす」という目標を達成し、集団として一回り成長することができました。

六月の市中体夏季大会。三年生が中心となってサッカー部と男子剣道部の優勝、女子陸上競技部の総合優勝、合計三つの優勝というすばらしい成績を収めました。本校ではこの十数年間、夏季大会での優勝がありませんでした。先輩たちがなし得なかったことを見事に成し遂げ、新たな歴史を創り上げてくれたのです。この快挙は、今後も長く、語り継がれることと思います。

七月の校内合唱コンクール。どの学級でも練習の中で何度も課題を話し合う姿が見られました。本番では、創り上げたハーモニーを公会堂いっぱい響かせて、最高の合唱を披露しました。

九月の体育祭。昨年は記録的な猛暑が続いて、思うように練習をすることができませんでした。そんな中でも試行錯誤しながらも後輩をリードし、笑顔いっぱいの体育祭を創り上げました。

十月の文化祭。学校生活で築いた絆を様々なパフォーマンスで表現し、その結晶を多くの方々魅せるという試みは、大成功を収めました。特に演劇「ライオンキング」での熱演は、観衆の心に深く大きな感動を与えてくれました。

今こうして振り返ってみると、皆さんが最高学年として使命感をもって精一杯取り組み、全校をまとめて全ての行事を成功に導いたことが分かります。そして、生徒会テーマ「共栄」を実現してくれました。

皆さんはまさしく長者中の顔であり、常に頼りになるリーダーでした。一・二年生にとっては、憧れの先輩でした。私は、皆さんの活躍をととても誇りに思います。

皆さんが卒業記念合唱で歌う「三月九日」に、「花咲くを待つ喜びを分かち合えるのであれば、それは幸せ」という歌詞があります。私が皆さんと過ごした二年間、折にふれて「文武両輪の花を咲かせよう」と話してきましたので、この歌詞のように皆さんが花を咲かせるところに立ち会い喜びを分かち合うことができ、今、大きな幸せを感じています。

それでは、卒業の門出に当たり、餞（はなむけ）の言葉を贈ります。

「道は百も千も万もある。」

これは、明治維新に大きく貢献した、坂本龍馬の言葉です。

皆さんがこれから一歩踏み出そうとするのは、これまでとは大きく違った環境です。そこでは、楽しいことやうれしいこともあるとは思いますが、思いどおりにいかないこと、辛く苦しいこともあるはずで。

もしも壁にぶつかった時には、すぐに諦めてしまうのではなく、別のやり方、方法に切り替えてみてください。龍馬は、目標を達成する道、即ちやり方、方法は一つだけではなく百も千も万もいくらかもあるよ、と言っているのです。これから先、皆さんが何かに取り組んだ時にあるやり方、方法がうまくいかなくても、きっと別のやり方、方法があるはずで。たとえ、それが最短距離ではなく時間がかかっても、目標にたどり着くのであれば、それでよいのです。

皆さんが大人になって生きていくのは、変化が激しく複雑で予測困難な社会であり、変化に柔軟に対応する力がより一層求められる社会です。変化への対応力が求められていく社会だからこそ、私たちは、百数十年前の龍馬の言葉を活かしていく必要があります。

(後略)

### 〈追伸〉

卒業生の皆さん、今日の卒業式が終わって、お父さんやお母さん、家族に会ったとき、いちばんに「ありがとう」の一言を伝えてください。心を込めた人生最高の「ありがとう」を。

令和6年3月9日

八戸市立長者中学校 校長 蔦川 誠